

操作・管理画面

工場全体の生産数量等のモニタリングをポータルとして、ラインと設備ごとに稼働状況や生産進捗分析、生産ピッチ分析、異常管理の情報をわかりやすい画面で提供します。また異常に関してはその履歴を表示するなどトレーサビリティも良好です。

工場全体のモニタリング(ポータル)



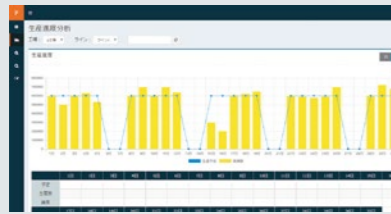
ライン、設備のリアルタイム情報



稼働状況分析(日・月単位)



生産進捗分析(日・月単位)



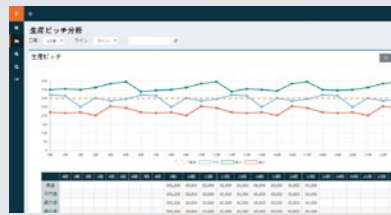
時系列情報(生産数・稼働状況・非稼働状況)



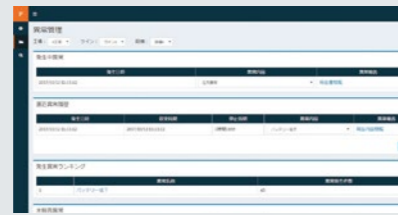
異常履歴



生産ピッチ分析(日・月単位)



異常管理画面(30日分をトレース)

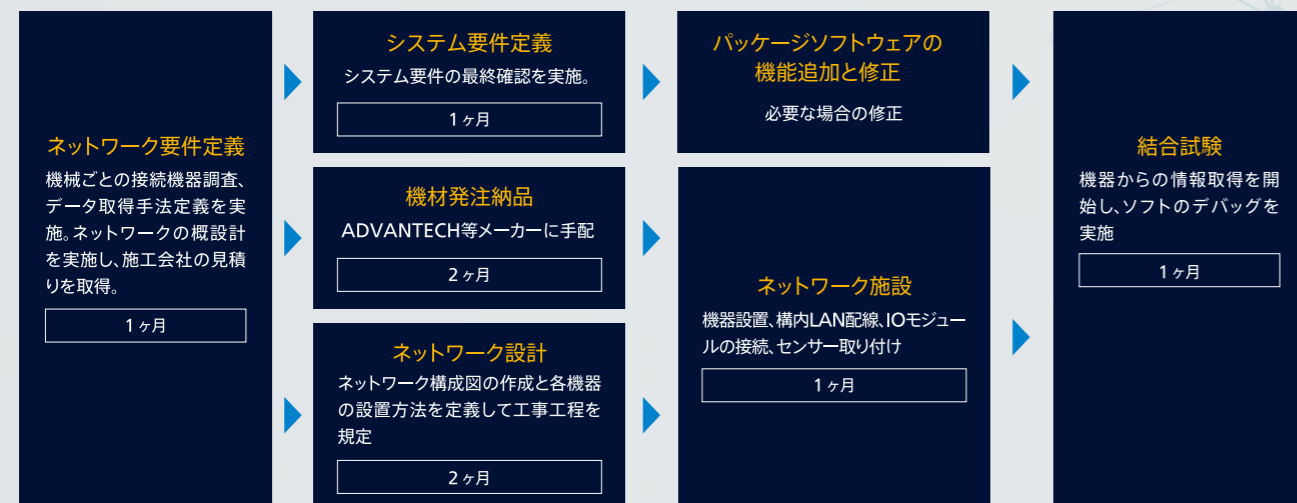


KOUJYOMORI 
工場守

製造業向けIoTソリューションパッケージ

工場守導入までのステップ

パッケージを基に、お客様に最適な導入ステップを決定していきます。



ネットワーク要件定義の作業はIoTシステムとは別に有料となる場合があります。なお、この作業により対象設備すべての管理手法が想定でき、100%実現することが実証され、後続事案のリスクを低減します。

製造業向けIoTソリューションパッケージ「工場守」

販売元



株式会社ヤマシナ
〒607-8155 京都市山科区東野孤藪町16番地
TEL: 075-591-3230
URL: <http://www.kk-yamashina.co.jp>



日本ラッド株式会社がシステム制作を行います。
konektiは同社の商標です。
ヤマシナは東証上場の産業用ねじメーカーです。

工場守は製造業の生産効率と品質の向上を目的に開発されたIoTパッケージです。その設計は製造業の工場をリサーチし構築されたもので、生産性の向上に即利用できます。使用するPCやデバイスは産業用IoT分野で多くの実績がある産業PCのリーディングメーカー、アドバンテック社製です。

パッケージだから導入が簡単

IoTに関するスキルやノウハウがなくても簡単なコンサルティングで導入でき、システム構築に要する労力や時間を大幅に短縮することができます。ソフトウェアはゲートウェイマシンにロードされた状態で提供します。

シンプルなシステム構成

年式や仕様の異なる製造用マシンでも簡単な仕組みでほぼ一元管理できるシステムです。エッジコンピューティングを採用し、PLCやセンサーからの情報をPC内で加工することによりシステム構成やセキュリティ対策などにシンプルに対応できます。

低ランニングコストでの運用

エッジコンピューティングにおいては大量のデータをクラウドへ送信することが発生しませんので、クラウド利用時も適切なコストで運用できます。

多彩な機能

生産進度、稼働時間、時間当たり生産数、機械別稼働状況、設備状態、異常情報などをわかりやすいグラフや数値で分析・管理できます。

工場のIoT化で目指すもの

見えなかったものが簡単に見える。様々な工夫が生まれる。

データを
取得する

センサーアプローチ
I/Oモジュールによる稼働状態情報取得
センサーによる継続的情報取得
制御盤からのカウンタ情報の取得

手入力およびデータ連携アプローチ
生産計画の入力
操業予定時間の入力
異常理由や対処の入力
非稼働原因の入力

見える化

機械・ライン単位の情報表示
生産進度情報
稼働状況一覧表示
非稼働状況の原因表示
リアルタイム異常の表示一覧
異常データの履歴表示・対処表示
監視対象のリアルタイム経過表示

予知保全情報の表示
設備故障に対する予知を通知

対策の実行

遅れなどへの対策の検討
アイテムに紐付けられた設備の生産情報が定量的に得られ、進捗管理などの生産統制に必要な対策がデータに基づき検討できます。

異常や非稼働への対策の実施
異常や非稼働情報を管理することで、その原因を後で分析でき、生産ライン管理や資材管理、品質向上への改善に生かすことができます。



稼働率の向上と
品質の安定を実現し、
原価低減が実現します。

I O T S O L U T I O N S P E C I A L I Z E D I N F A C T O R Y

システム構成例 金属製品製造業

